



れんきんじゆつしにおうかんを

GRANBLUE FANTASY
Cagliostro FanBook

錬金術師

冠を

R18
Contents include

20170813 aaaishiteru

3

鍊金術師に

GRANBLUE FANTASY
Cagliostro FanBook



冠
0170813 aaishiteru 3

錬金術師に王冠を 3

GRANBLUE FANTASY Cagliostro FanBook
20170813 aaishiteru





相変わらず
イケねえし……っ

あ……んんん

全然スツキリ
しねえ……

オレ様はこんなに
発情しちゃってんだ……？

……ムシカ
なまん
なまん

わんわん
わんわん
わんわん

んん

んんん
んんん

んんん
んんん



んん

んん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん

んんん
んんん



あいつとの
出会いが
何か関係
あんのか…？

ていうか何で
あいつが…



こうなったのは
……そつだ

あいつと出会った
あの日からだ



触るな!!



やっぱり……

ちゃんと話
するつきや
ねえか……



あ~~~~ッ
くそ……ッ

なんなんだよ
あいつ……ッ!!

わー!!

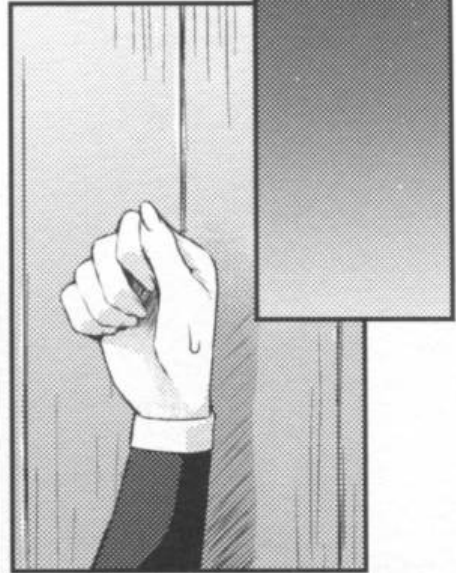


……カリオストロ殿



あ……
ネツァワルビリ
いるか？

ちょっと話が
あるんだが……



？
何か……

これっ
忘れ物！

あ、ああ……
すまぬ

それとっ



その……

すまなかった

…む？
何がだ？

いや、だから…

お前この前なんか
怒ってたみてえ
だから…

我も…
あんな態度をとる
つもりは無かったのだ

それがつい…
妙に焦ってしまったな
我らしくもない…

ああ…

いや、
あれは…

我の方こそ
すまなかった

実をいうとな

お主に
会ってからののだ

我がおかし
くなったのは

………!!

なんだ…

それでな、

もしや
カリオストロ殿…

我にその
錬金術とやらを
かけたのでは
あるまいな？

こゝも

オレ様と
一緒なのか？

は？

そうであるならば
今すぐ術を解いて
欲しいのだ!!

たのむ!!!

いやいやいや
かけてねえよ!!

そんやせ
欲を解いて
さっさとさっさと
お三!!!

むう……
そうであるか……

がっくし

(こいつ本当に
馬鹿だな……)

……
なあお前

お前が
焦ってるのって

前に言ってた
お前の一族が
関係あんのか?

その……
詫びも兼ねて

今日はちゃんと
聞いてやるから!

それならさ……
話してみろよ

おおっ……

それは
誠か!?

あっ……

ああ

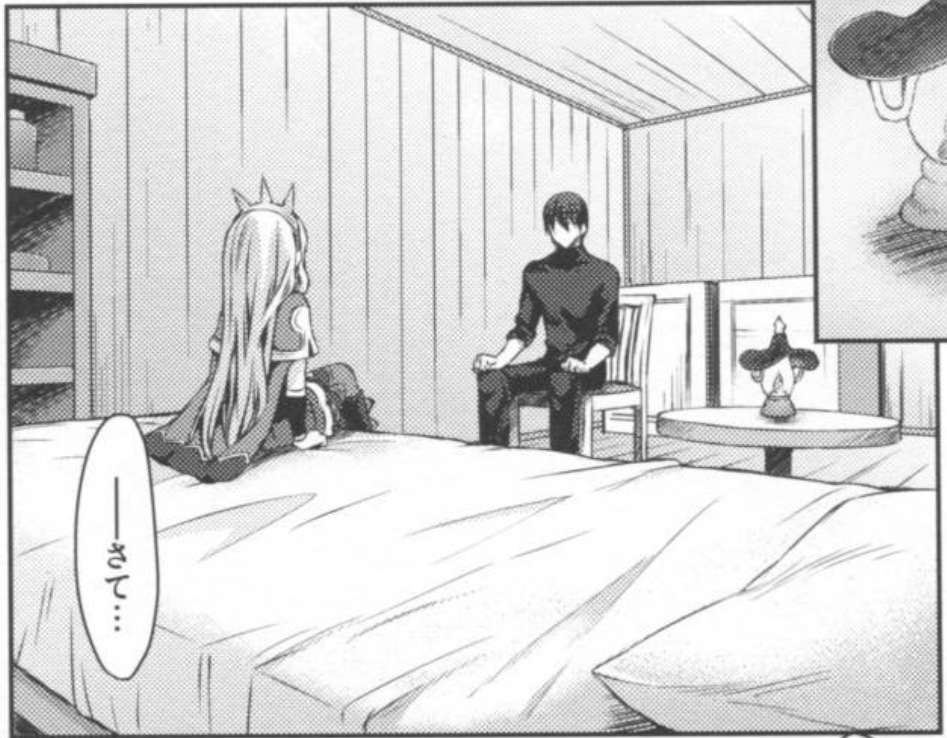
ぬ……ぬう……

だが……その……

本当に
話だけで
あろうな?

ドキドキ

手は
出さねえよ!!



じゃ、聞かせてもらおうぜ

……さて……



お前の一族の話
つてやつを



うむ……

私の故郷である
「翼」の一族には



代々伝わる
予言が
あってな……



——つまり、
一族の終末を
予言するもので

その一族を救う事こそ
王たる我に課せられた
使命なのであるが……

『そう遠くない未来
何もかもが
終りを迎える』



確かに
その通り
なのだ

ん？
ああ…
いや、



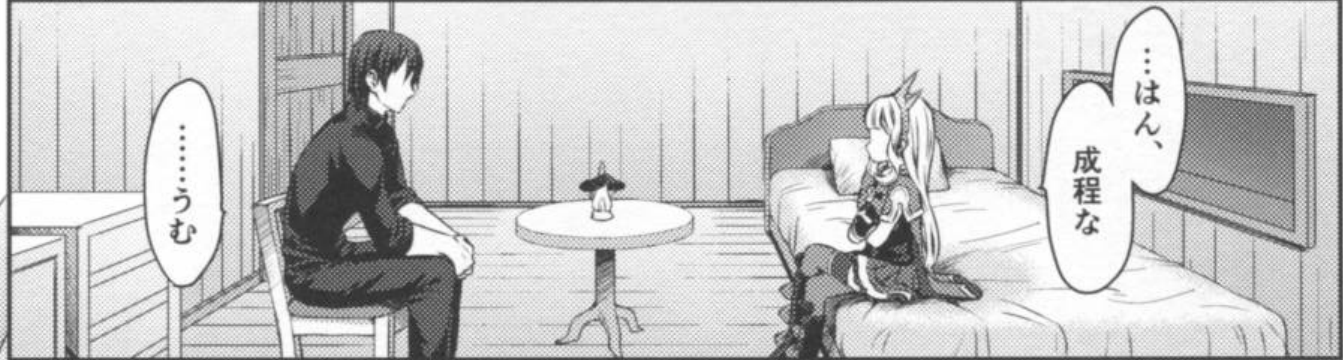
ふうん、
じゃあ以前
お前が言ってた
「未知の力を
捜している」
ってのは

その一族を
救うために
必要って事だな？



実をいうと我は
その予言自体
微塵も信じて
おらぬでな

どちらかというと
その予言を
固く信じておる
長老達に示す
説得材料として、
という意味合いが
大きいのだ



……うむ

…はん、
成程な



……はず
だったのだが



そう、我は
その予言を
信じてはおらぬ





…このところ

ひどく不安になるのだ

やはりあの予言が示す未来は

真実なのではないかと……



まるでそれを裏付けるかのように毎夜夢を見るのだ

一族が次々と斃れ滅ぶ悪夢をな…

ある時は天災により、

またある時は他国に攻め入れ…



そのような事決してあってはならぬ！

だから必ず…！！
王である我が一族を救わねばならぬのだ！！



……



その為には一刻も早く手を打たねばならぬのだが…

はっ！！



お主の錬金術があれば
たとえ我が一族に
何があろうとも
問題ではないと
思うのだ!!

だから
是非!!

……っ
だから
ならねえって
言ってるんだろっ



そうだ!
カリオストロ殿!!
改めて訊くがっ
私の妃となつては
くれぬだろうか!?

は……はぁ!?



ぬう……
そうか……
名案であると
思ったのだが……

いや……
それで
あろうな……
すまぬ……

……



だが……
それでは……
我は一体
どうすれば
よいのだ……?

……つたく



問題は
そこじゃねえ
だろうが……

干ッ



……カリオストロ殿?

あのさあ
……



別に
一族なんて



滅んじまっても
いいんじゃねえか？



…なっ！

何を…
言い出すのだ

お主…は…っ!?

…滅びようが
滅びまいが

結局、最期に
人は死ぬ。

早いか遅いかの
違いだけだ



……っ

皆仲良く
死んじまえば



それだったらさあ…
いいじゃねえか



カリオストロ殿!

お主は…
我が一族を
愚弄する
気か!?

我は真剣に
申しておる
のだぞ!?



はっ
ははっ…
何が可らしい!?
あはっ!
ああ、可らしいな
可笑しくて
たまらねえよ




くっくくく…
!?

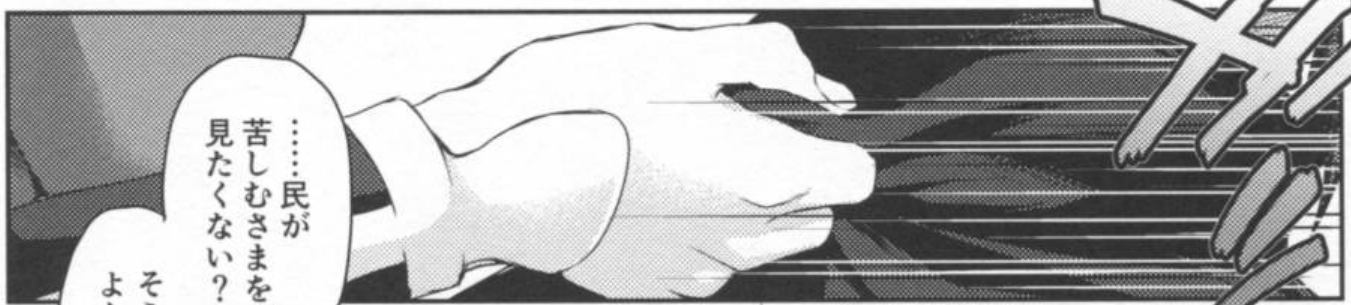


我は…!
我が民を
苦しむさまを
見たくはない!

それを放って
おこなど王として
出来るものか!!




民想いの優しい
王様気取りの
お前がなあ……



……民が
苦しむさまを
見たくない？

そうじゃねえ
よなあ？



お前が本当に
見たくないのは

民を救えねえ
無力な自分自身
の姿だ



お前は結局
自分の事しか
考えてねえ

薄情で無力な
どうしようもない
人間なんだよ

…やめ…ろ…っ

しかもさあ…

そんな
クソみてえな自分を
直視する勇氣も
ねえんだろ？

ほんっと…

お前って
弱いな？

弱くて
薄情で…

よくそんなんで
自分は王だとか
言えるよなあ！

やめろ！

いい加減
認めろよ

クソみてえな
お前自身を

そして

絶望しろ



……その通りだ……

……我は

薄情で無力で弱くて

どうしようもない人間だ……



民を想うフリをして……

本当は自分自身の無力さを思い知るのが恐いだけなのだ……



現に我は未だに高所を恐れる心を克服できてはおらぬのだから……
ははっ……

翼の一族の王が聞いて呆れるな……



は……は……
そうだな……

このような臆病者が一国の王などと……
何を思い上がっているのであろうな……



……ん？

え、なに……お前高所恐怖症なの？

そうだ

翼の一族の王なのに？

……そうだ

でもお前戦闘中結構高くまで飛び上がったねえか？

あれは……いつも！我慢しておるのだ……ッ！

……ていうかオレ様達今騎空艇に乗って空飛んでるしそもそもこの世界の島々って空に浮かんで……

やめろ!!そのことを思い出させるなあああ!!!

生きるのが辛くなるではないか



お前傑作だな!!

翼の!
一族なのに!
高所恐怖症
とか……っ!!

はははは
はははは
はははは

……



そこまでは笑うことはないであろう?!

あ、悪リイっい……



確かに我は臆病者であるがっ

確かに我には薄情な面もあるがっ

これでも日々克服しようと努力しておるっ

民を想う気持ちも本物であるぞ!



いや悪くねえよ

こんな私のどこが悪いのだ——ッ?!



オレ様は
一度も
悪いなんて
言ってねえよ

…む？
悪くない
…のか？



いいじゃねえか

薄情で
無力で臆病者で

それすら
直視できねえ

弱い人間でも



だからさ



それって
ある意味
才能じゃねえの？

あ？
弱いってことは
その分人に
助けて貰える
ってことだろ？

むう…

そうである
…のか…？



ま、
聞いてて
思ったのは

お前はきつと
いい王なんだろう
…ってな

…こんなに
弱い我がか？

弱さってのは

宝だろ？



①
問題・悩み
見たくない自分
味わいたくない感情

②
見、感じ
↓
問題・悩み
が解決する

単純な話さ
人が何かしら
悩みや問題を抱え
壁にブチ当たる時

そこには
見たくなえ自分や
味わいたくない
感情が膿のように
溜まってやがる

思い切って
皮膚を裂いて
その汚ねえ膿を
出しちまうこと

解決するのに
てっとり早いのは

つまり…
さっさと
絶望しちまう
ことだ

!?

なっ…
な…!?

お、だいたい
ほぐれた
みたいだな

…??

お前全身に力入って
ガチガチだったろ?

…む!?

お…お主
もしや我に
錬金術とやらを!?
いつの間に!?

それが緩んだって事は
オレ様の読みが
当たったって事だな

ちげえよ

心が緩めば
同時に身体も
緩むのが道理だ

どうだ?
今は悪くねえ
気分だろ?

うむ、確かに。
身体も軽いが
何より心がな…

なぜあんなにも
焦っていたのやら
今となっては
思ひ出せぬ
くらいである!

そうか…

じゃあ、きつと
上手くいぐぜ

まあ万が一、
この先一族が
終末を迎える
としても、

はその時は
存分に足掻けば
いいだけのこと
であるな!

は、は、は、



カリオストロ殿…

…む？

…ということは
お主は我のために
わざと悪役を？

あん？

お主…
実は良い奴
であるな？



ああ？



オレ様は
ただ…



…まったく
そんなんじゃ
ねーよ



あ~~~~~
ホラあれだ！
オレ様は
お前の下半身にしか
興味ねえからな！

お前の身体が
緊張してたら
勃つもんも
勃たねえから
それで…っ



…カリオストロ殿は

我と
したいのか？



は？

あ、
いや…

それは…

その。



我はお主を
抱きたい。



……っ！

あっ！

ちよっ…

あっ！

……っ





ぬ、これは…

どろろ

……っ!!

し、仕方ねえだろ…

オレ様の身体はあれからずっとこんなんで…っ

は…

は…

今もずっと我慢してたんだから…っ!



そうか…

なら

今日はもう我慢させぬ

アッパッ

どろろ

どろろ

どろろ

急にやる気になりやが…

なんだよ…っ

な…っ

まさ…

てっ…♡



まじっ♡

だめだ…っ
こいつの指…っ
気持ち良過ぎてっ



…まだ足りぬな？

…あつたりめえ…だろ…っ



あ…っ
あ…っ
あ…っ
あ…っ



どこが…
いいのだ？

トク…

ど…ど…ど…
っ…

子宮に
ピンピン
きて…っ

耳…♡

こいこい
触れられると
きんぞく
感じて…っ♡

奥が切なく
なっちまう…♡

トク…

トク…

トク…

トク…

トク…

トク…

トク…

トク…

トク…

トク…

トク…





いいも
何も…

最初から
言ってる
じゃねえか

オレ様は
お前の
下半身にしか
興味ないって

だから

お前が
どんなに
弱くて
薄情で

情けない男
でも

正直
どうでもいい

ま、しいて
言うなら

ちんこさえ
あればいい

はっはっはっ!!

な…
何笑ってんだ!?

!?



それで
あったな...

うむ...

いや、
そうか...



?



なら...
存分に
お主の期待に
応えてみせようぞ



あ...ああ
期待してるぜ



ドキ

ドキ

はっ...

はっ...

早く...っ

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ



いや…

なんでも
ない

?
お前
なんか…

今日
変だな

スゥ…
そうであるな…

お主自身、
気付いておらぬかも
しれないが…

……

ていうかさ…
挿入してるだけで
気持ち良くて

正直もう…
ヤべえんだけど

それは
こっちの台詞だ

いったん
抜くぞ

あっ
ちよっ…

うっ…
動く…なあっ♡

だ…めえっ♡





そんなっ…
締め付けたら
…まずい…ッ

そんなっ
こと…ッ
言ったって
…ッ

か、勝手に…ッ

くぅ…
締め付けが…ッ
もっ…!

出…!

あ…♡
膣内…♡
…♡

♡…♡…♡…♡
気持ち
♡…♡…♡…♡

ピクピク!!

キョウウウウ♡

キョウウウ♡

キョウウ♡

キョウウ♡

はっ

はっ

はっ

はっ

びびッ!

びびッ!



な...
んだ...よ

もう...
出ちゃった
のかよ...

安心しろ
一回では
終わらぬ

...ゆっくり
動くの...っ

気持ち
いい...っ♡

なんか...精子
擦り付けられてる
みたいで

興奮する
...っ♡



♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡
♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡



…私も
イきたい…



♡♡♡

…♡♡♡

♡♡♡

くっ…

また…
締め付けが…っ



激し...っ♡

こういうのは
嫌か？

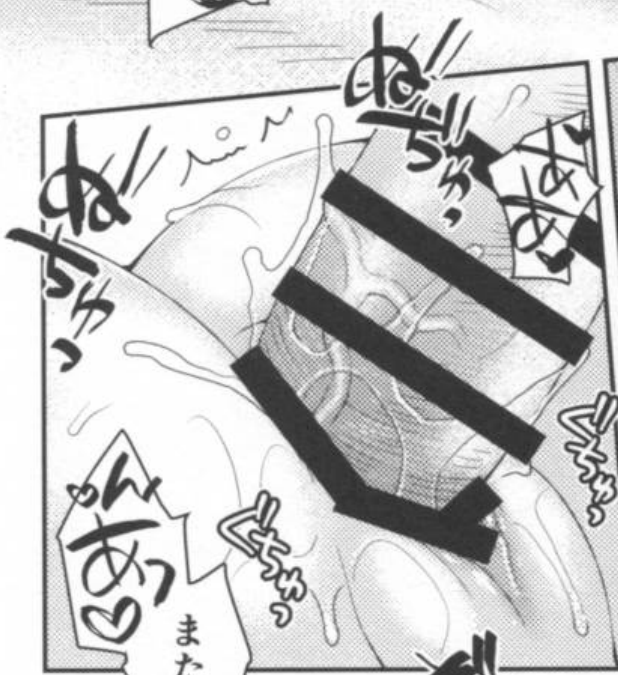


ズコズコ
って...っ♡

気持ち
い...っ♡

さ...♡

さ...♡



またっ♡



いっちゃ...♡♡



だ…めえ♡

出す…ぞっ

おっ
おっ
おっ

おっ

おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

おっ
おっ
おっ



お主のここは
まだ足りぬ
ようだが？

気持ち
いい……っ
から……っ♡

でもっ
そうじゃなくてっ



お前……
まだやる
つもりかよ？

な、
なあ……



いや、
そうじゃねえけど……

ぬ？
お主はもう
飽きたのか？



その……



そりゃあ……
だっ……てっ



そう…だけど

そうじゃ
なくて…っ

どうしたのだ？
言ってみろ

っ



だっ…
だから…

そのっ…

お…
おしっこ…!

びしょ

出そう
だから…っ

トイレ
行かせろ…



…ああ

ここで出して
構わぬぞ



まあ…私も
見てみたいのでな

お主の…

ぼっ
馬鹿か!

見せるもん
じゃねえって…



は!?

何言っ…



あっ!



ぼっ...
ぼっ...
ぼっ...

そんな... なっ
刺激した... らっ

いいぞ...っ

私も出すのでな...っ

ほん...とっ
出ちまう...っ

出る...ッ!

...抜くぞ

だめだっ
今抜いたら...っ



ありえねえ
からなっ!!!

オレ様が
お漏らしとか...

くそ...っ
くそお...っ

あ...ああ...

は...
くそ...

う...うむ...

お前も
ガン見して
んじゃねーよっ

止まら...ねえ...っ

ばかっ

なんと
いうか...

興奮した

.....!?

はあ!?

なんでお前
オレ様の放尿見て
勃起してんだよ

おかしいだろっ

へ...
変態...かよ...

...ああ?

...まあ
お主には
負けるがな



ほら見ろ

また
漏らしておるぞ

違っ…!

これは…っ
漏らしてる
んじやなくてえ…っ

気持ち良かった
のであろう?

癖になったか?

ほら
突くたび
出るぞ

そん…なっ

し…仕方
ねえ…だろっ

出ちゃ…っ♡

気持ちいいっ
んだから…っ♡





そんなに…
私のが
よいのか？

ん…っ♡
ああ…っ
そう…
だよ…っ



でも
お前だって
…っ

我は
お主に夢中だ

オレ様のっ
まんこに
夢中…だろ？

ああ
そうだ



くっ…
我も…っ
出…る…っ

またっ♡
いくっ♡

もっ…



カリオストロ殿……



私の…
妃になっては
くれぬか？



いや…
だから

ならないって
言ってる
じゃねえか



オレ様の身体じゃ
子供は出来ねえし

そもそも
こういう関係に
なったのも
オレ様が望んだか…



オレ様は
お前の一族を
救うとか
興味無えし

ああ
それから

オレ様に対して
責任を取るってのも
面倒臭えからナシな？



そういう
意味ではない

…じゃあ
どういう
意味だ？



……
いや、

忘れてくれ



……？



じゃ、
戻るぜ

またな

ああ、
また



バタン



翌朝



連日
治まる気配の
無かった

あの
身体の疼きが

…おいおい

どうい
う事
だよ……

綺麗さっぱり
消失していた



なんだ
った
んだ？

アレは
……

そうして
あいつに会う
理由を失くした
オシ様は

同じ団にいな
がら
不思議と顔を
合わせることも
なく

それから
しばらくの時
を
過ごした。

まるで、あいつに
出会った前と
同じような日々を。



心にぽっかり
穴が空いたよう
な

ただ、
どこか

そんな
空虚さを
感じていた……



別の見方をすれば悩みや問題は、魂の望み・欲求が心の奥底に眠ってますよ、と知らせるサインでもあると言えます。

遠い昔、心の奥底に沈めてしまった魂の望み・欲求。
「～したかった」「～してほしかった」という願いにも似たその欲求は、
あまりに傲慢で、非道で、身勝手に、みじめで、くだらなくて、
それを望んでしまえば、全てを喪ってしまうような、世界にひとりだけ取り残されるような、
そんな絶望的な恐怖を味わうことになる。
だから、蓋をして無かったことにした。

でも、その欲求は目に見えなくなっただけで、無くなることはない。
どんなに上手に蓋をしても、上から押せば痛みがある。
まるで、ここに果たされていない願いがあるよ、と教えるかのように。

カリオストロによって強制的に蓋を外され、絶望を味わったネツァワルピリは、
同時に遠い昔に封印した自分の望みに気付くこととなります。

そうして葛藤の末出した彼の答えは、カリオストロの望みさえも浮き彫りにしていく。

その答えは、次回に。

いけいけ！カプ厨ジータちゃん⑤

カリオストロさん

そろそろ
最終上限解放
しませんか？



ん？

ああ…
そうだな



はい！

それですね…

ちょうど同じく
最終上限解放した
ネツアワルピリさんと



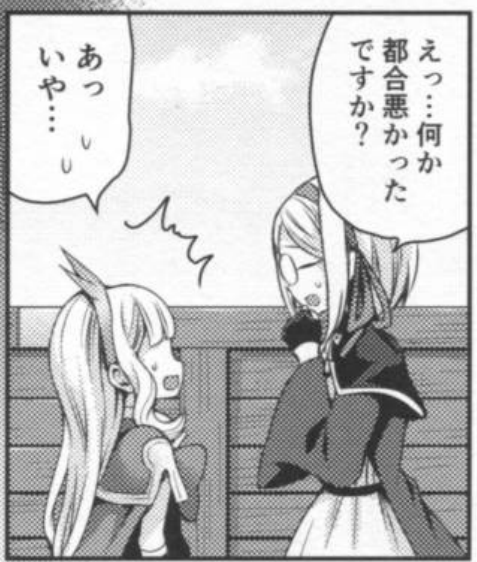
一緒にサブメンバーに
入れてレベル上げ
させてもらいますね♪
全編成これで!!



やめろおおおお

えっ…何か
都合悪かった
ですか？

あっ
いや…



マズい…!!
今あいつと
顔合わせるのが
気まずいなんて
言ったら

ホラ☆他にも
解放待ちの
⑩回さんが
いるでしょ？

変に
勘繰られちゃう
……ッ!!

その人達に
先を譲って
あげよっかな
ーって☆



カリオストロ、
今Gachaでも強いらし☆

なるほど！
さすが
カリオストロさん！

分かりました
では先に
他の団員を
上限解放&
レベル上げ
しちゃいますね！



あ、ああ…

数日後—。

半額中は
スラ爆が
たかまけー…



カリオストロさん！
他の団員の
レベル上げあらかた
終わりました！



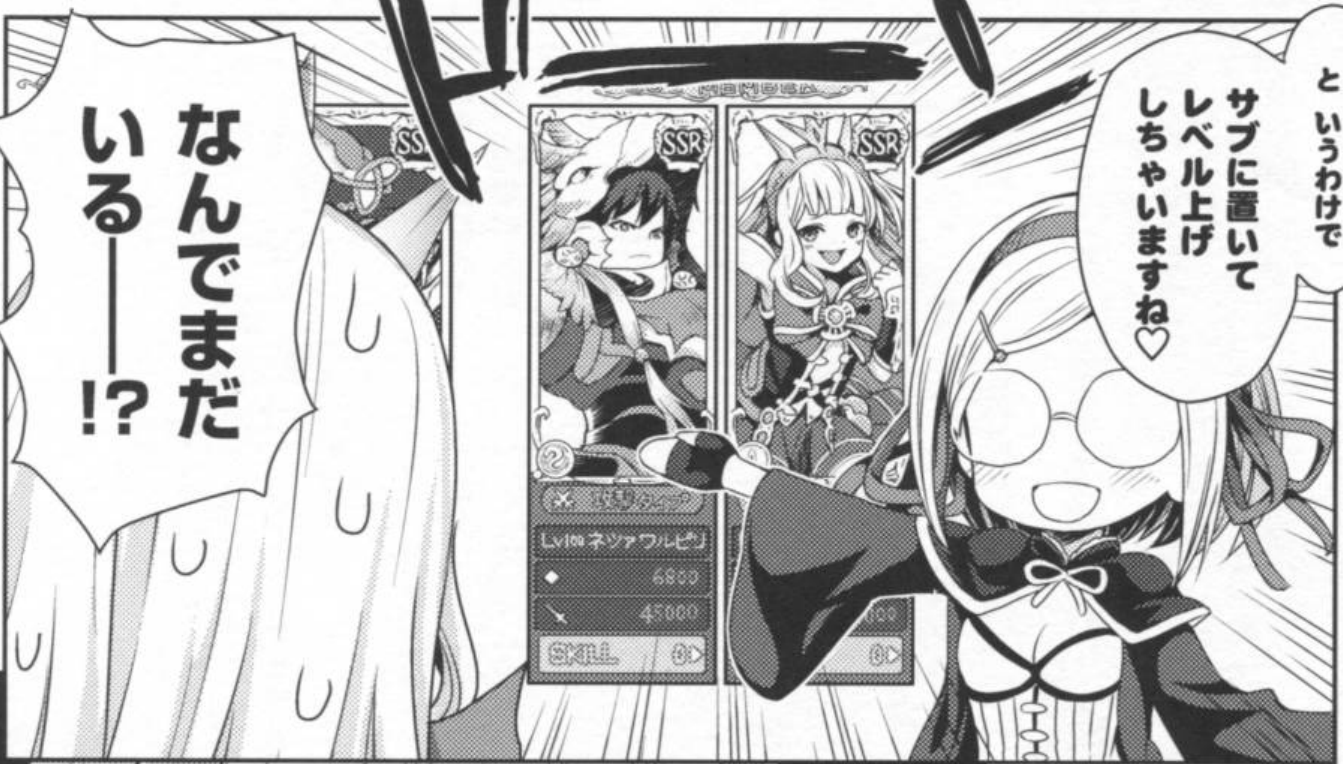
はい！

お、
そうか
次は
カリオストロさん
の番ですね！

というわけで
サブに置いて
レベル上げ
しちゃいますね♡



なんでまだ
いる—!?



レベルは100に
なったんですけど
リミットボーナスを
上げようかと
思いました！



リミボが
あったかあああ

ネットアワルピさんと
何かありましたか？

あ、
いや…

しまった…!!!

えっ…

カリオストロさん
もしかして…



いやいやいや
何も無い何も無い!!

無だすぎるくらい
何も無いぜ!!

っていつか
これじゃ逆に

まるでオレ様が
あいつのこと
意識してる
みてえじゃねえか!!!

そうだよ…
あいつとは別に
何の関係も
無いんだから

普通に
してれば
いいんだよな…

ネーこそこの…
ネツァなんかがさん?

カリオストロ
その人のこと
良く知らないけどっ

団長さんが
言うなら
一緒にしべル上げ
してもいいよっ☆

本当
ですか!?

良かったああっ
お二人…
属性も違うし

なかなか
交流の機会も
ないと思ってて…

これで親睦を
深められますね!!

じゃあ早速
上限解放して
編成組み込み
ますね!

あ…ああ

大丈夫、大丈夫
気にしなきゃ
いいんだから…

あ、
それと…

ん?



平常心
平常心

…すまぬが

…カリオストロ殿

えっ!?

な、
なんだ!?

ここを
任せても
よいだろうか?

えっ!?

あっ

ちよっ…

何!?

なんで急に!?

もしかして…

オレ様…
避けられてる!!?

めっちや
気にしとるやんけ

高所恐怖症

めっちや…

おわり

ていうか団長
お前さあ…

以前オレ様に
媚薬入りのお茶
飲ませようと
したよなあ？

えっ!?

な…
何の事です??

ごまかしても
バレバレ
なんだよ

開祖であるオレ様が
お前ごときの錬金術
見破れねえとでも
思ったか？

あ…し
あうう…

っか…

そもそも
そんなの飲む
までもなく

じゃ…じゃあ
あのお茶は…

飲まずに
捨てた

キャピリ

っ…

で…
ですよー

あの日の
オレ様の身体は
既におかしく
なっちまってた
ワケだが…

あーでもっ
あの日あいつに
気を許しちゃった
のは

団長の紹介だから
つても大いに
あるからな…

結局まんまと
団長の策略に
ハマられたって
ことなのか…?

あーっくそっ
オレ様の気も
知らないで…っ
ちくしょーっ!!

いけいけ！カプ厨ジータちゃん⑦



お手に取っていただきありがとうございます。

捏造妄想100%でお送りしておりますネツァワルピリ×カリオストロ本もついに3冊目となりました。

シリーズ通してお読み頂いてる方はまだしも、この本からお手に取っていただいた方は「この男だれ??オリキャラ??」ってなっていやしないかと心配です。なんせ今回、最初からあの兜外しちゃってますからね……!!描いている自分でさえオリジナルキャラと錯覚しそうになりました…危ない。見えないかもしれませんが一応魔王・ネツァワルピリさんです。よろしく願いします。

ゲーム内にて未だにネツァさんの髪型が公開されていなくて相変わらず想像で描くしかない状況なのですが、今改めて見たら1の時は長めに描いていた髪の毛が2と3ではなんか短くなっておりました!無意識に!!(笑) いや……最終解放絵でこれ髪の毛かな?って思ってたやつがトレカの描き下ろし見たらあれ、これ模様じゃね?ってなって混乱しまして毎回髪の毛が伸びたり短くなったりという事態に。4ではまた伸びるかもしれませんが伸びないかもしれませんが、どっちにしろ魔王・ネツァワルピリさんなので、よろしく願いします。

さて、今回はアレですね。ついにネツァさんがカリオストロちゃんへの恋心を自覚するという回なので、なんというか、恥ずかしいですね!私が!!(笑) そしてようやく今まで受け姿勢だったネツァさんが本気出してくれたのでえっちな受けカリオストロちゃんが描けて満足です…念願のおもらし描けたあああ!!いやあ最高ですね(´ω`)

あ、ちなみに設定的にネツァさんは1の時から既にカリオストロちゃんに惚れてまして今回ようやく自覚した、という流れになります。そう、実は一目惚れだったのですよ。(ニヤリ)

ところで「ちんこさえあればいい」というセリフは某子宮委員長はるちゃんの名言をオマージュさせていただきました。このセリフ、一見相手(男性)を否定するように(お前の価値はちんこだけだ、みたいな)捉えられてしまいそうなのですが、別の見方をすると「男でさえあればいい」という意味になり、つまり肩書や経歴もたとえどんな心の闇を抱えていようと関係なくあなたでいいよ、という超肯定のセリフなんですよ。

今回のネツァカリの関係性にはピッタリだな、と思ったので採用させていただきました。

子宮委員長はるちゃんは個人的にとても好きでファンなので、セリフに組み込めて良かったです。

(ちなみにはるちゃんは現在「ちんこさえもいらない」(あなたがいてくれるだけでいい、何もいらない。)という域に達しておられて、本当に尊敬するしかありません。はるちゃん、セックス卒業おめでとうございます!)

あと私は心の仕組みを分析&解説するのが好きでして、今回カリオストロちゃんが説明するという形でちょっと書いて満足ですw

他にもカリオストロちゃんのゲス顔とかああ見えて実は面倒見いいところとかネツァさんの高所恐怖症なところとか(笑)描きたいものがたくさん描けてほんとに良かったです……!

お話自体も起承転結のまさに転といったところでしょうか。最終話である4へつなげる重要な回でもあり、また1や2でのさり気ない伏線を回収する役目も担っていて、盛りだくさんで詰め込めて良かったなーと思います。

というわけで、次の4が最終話で完結となります。

心の仕組み的に考えるとこの二人が出逢うことは必然なので、そこらへんがお伝えできればいいなと思います。

だいぶお話部分が長く、エロシーンは短く(…)なるかと思いますが、よろしければ最後までこの二人の話を見届けてやってください。

それでは、お付き合い頂きありがとうございました。

たいしょう田中



発行日

2017年8月13日

発行

ああ愛してる / たいしょう田中
tsumi_ichigo@yahoo.co.jp
http://pixiv.me/taishow_t

印刷

表紙・口絵：印刷の通販グラフィック 様
本文・製本：くりえい社 様

※18歳未満購読禁止
※無断での転載・複写、アップロード、
ネットオークションへの出品等は



錬金術師に王冠を 3

GRANBLUE FANTASY Cagliostro FanBook
20170813 aaaishiteru